

棚POWERインフォメーション

今年はどうな一年でしたか? ご多忙だった方、年末年始にゆっくり体を休めてくださいね。



Vol. 41
2002.12.11



Ver10.20

ICconcept®サポートセンター

TEL 0037-80-2571 (通話料無料)

携帯電話、PHS、公衆電話からご利用の場合
TEL 06-6821-0904 (大阪)

10:00~12:00, 13:00~17:00

土・日・祝祭日はお休みをいただいております。

<http://www.iconcept.co.jp/>

e-mail iccenter@iconcept.co.jp

無料 サポートセンター専用ダイヤルを開設しました。是非ご利用ください。

2002年12月2日(月)より、多くのユーザーの皆様をサポートセンターをご活用いただけるよう、棚割ソフト業界では初めて、サポートセンターの通話料無料化を開始致しました。

これまでは東京、大阪の2ヶ所に設置し、各お問合せ内容は共有のデータベースで管理、連携していましたが、今回拠点をシステム開発部門と同場所に集約させることで、よりユーザーニーズを反映したシステムのご提供が行なえるよう、努めていきます。

なお、これに伴ない東京サポートセンターでの受付は終了させていただきました。これまで東京サポートセンターをご利用いただいていた皆様方にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。今回のサポートセンター通話料無料化、集約化により、アイコンCEPTではユーザーの皆様への満足度の向上を目指し、サービスおよびシステムの向上に引き続き取り組んでいきます。ご要望やご不明な点などはお気軽にお問合せください。どうぞよろしくお願いたします。

操作に関するお問合せはサポートセンター専用ダイヤルへ(ユーザー様専用)

一般電話からご利用の場合

無料 0037-80-2571

※携帯電話、PHS、公衆電話からのご利用はできません。
※国際電話発信などを制限している一部の一般回線からご利用できない場合があります。予めご了承ください。



ICconceptサポートセンターです。
お問合せの際は、ご利用いただいている棚POWERのバージョン、御社名、お名前をお聞かせください。

携帯電話、PHS、公衆電話からご利用の場合

06-6821-0904 (大阪)
このダイヤルへの通話料はお客様のご負担となります。

受付時間(土日、祝祭日を除く)

10:00~12:00
13:00~17:00

※専用ダイヤル設置に伴ない、サポート受付時間を変更致しております。ご注意ください。

受付時間外などに操作方法が分からない場合は、サポートセンターへよく寄せられる質問をQ&A形式でまとめているホームページ「棚POWER Q&A集」をご利用ください。【全文検索】ではキーワードで検索することも可能です。下記「ユーザーの皆様専用サイト」よりアクセスしてください。

<http://www.iconcept.co.jp/user/>

Eメールでのお問合せ iccenter@iconcept.co.jp

※Eメールへのご回答はお問合せ日より時間がかかる場合があります。ご了承ください。

*** 年末年始のお知らせ ***

年末の営業 2002年12月27日(金)まで

年始の営業 2003年1月6日(月)から

ご契約、操作研修などについてなど操作以外のお問合せはこれまで通り下記ダイヤルへおかけください。

06-6821-2571(本社)

03-5297-1365(東京オフィス)

●サポートセンターより...活用いただきたい機能

分析機能はご利用いただいていますか? 最近分析に関するお問合せが多くなっています。今回は「POSデータと、市場データ2つの売上情報を元に分析を比較したい」というお問合せに対するご回答をご紹介します。「月別の売上変化の確認」や「棚割改廃による分析結果の比較確認」も同じ方法で行なうことが可能です。是非ご覧ください。

●処理中モデルと参照モデルの2つを同時に分析検証で表示し、各売上の変化や比較を視覚的に確認する方法

操作方法:

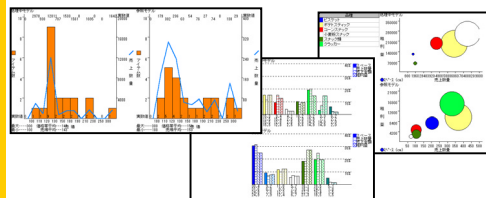
①モデル設定[分析設定]分析・売上マスターにPOSデータを指定し分析検証ウィンドウを表示させ、モデルを保存します。(分析検証ウィンドウを表示することにより、モデル内容に分析結果を反映し、保存します)

②①のモデルを開き分析・売上マスターへ市場データを指定し、分析検証ウィンドウを開きます。

③参照モデルで同じモデルを開き、分析検証ウィンドウのプルダウンメニュー→ウィンドウ→[参照モデルを同時表示]します。

④処理中モデル(市場データ)と参照モデル(POSデータ)の分析結果を比較し、市場と、実際の売場で構成比などを確認します。

参照: **棚POWER講習会** 9時間目「Ver10の新機能~分析編~」『2. 分析検証・2モデル同時表示』



参照: 分析検証ウィンドウのプルダウンメニュー→出力からは[プリンタ・クリップボード出力][ファイル出力]などが行なえます。パワーポイントなどに貼付け、提案書作成時に活用することも可能です。

さらに、上記手順で、2モデルの分析表示を利用すれば、「複数モデルの分析検証画面を表示し、比較」することも可能です。また、複数モデルの分析を行なう際には、モデル活用・モデル複合分析をご利用ください。モデル・分類・アイテムごとの分析と、クロス分析が行なえます。

参照: **棚POWER講習会**

10時間目「Ver10の新機能~モデル活用編~」

棚POWER講習会 <http://www.iconcept.co.jp/koshukai/>

上記ホームページではその他の機能についての操作方法、活用方法などを詳しく説明しています。

分析機能についての操作方法が分からない...そんな場合はお気軽にサポートセンターへお問合せください。また、上記ホームページなどもご利用ください。

MD - ing 講座 35 カテゴリーマネジメントについて

第七は、カテゴリーの評価についてです。ここでは比較的身の回りにあるデータを活用し、簡単に評価出来る方法を解説します。
ポイントは、単年度ではなく、数年のトレンドで評価をする事です。時代の変化の中で、それぞれのカテゴリーの役割が変わるからです。

I・・・カテゴリーとサブカテゴリーのマーケット動向で評価してみよう。

A :対象	B :データソース	C :評価ポイント
1・・・カテゴリーの成長性について * 全国での状況 * 当該エリアでの状況 * 卸売企業段階での状況 * 小売業段階での状況 * 小売店舗段階での状況	1・・・業界データ * 市場規模 * メーカー動向 2・・・卸別出荷データ * 商品別 * 卸企業別 3・・・小売企業別販売データ * 全国での状況 * 当該エリアでの状況 * 卸売企業段階での状況 * 小売業段階での状況 * 小売店舗段階での状況	1・・・カテゴリーの成長率の増減に変化はあるか 2・・・カテゴリー内の新製品の数は増加しているか 3・・・カテゴリー内のメーカー数の増減に変化はあるか 4・・・カテゴリー内のSKU数(ブランド)の増減に変化はあるか 5・・・棚の総尺数の増減に変化はあるか
2・・・サブカテゴリーの成長性について * 全国での状況 * 当該エリアでの状況 * 卸売企業段階での状況 * 小売業段階での状況 * 小売店舗段階での状況	4・・・小売店頭情報 * 商品別 * 店舗別 * 定番販売・特売販売別 * 店舗別棚割り表	

II・・・消費者動向データで評価してみよう。

A :対象	B :データソース	C :評価ポイント
1・・・世帯当たり購入金額 * 全国での状況 * 当該エリアでの状況 * 当該店舗商圏での状況	1・・・消費者パネルデータ(SCIデータ etc) 2・・・総理府家計調査	1・・・世帯当たり購入金額

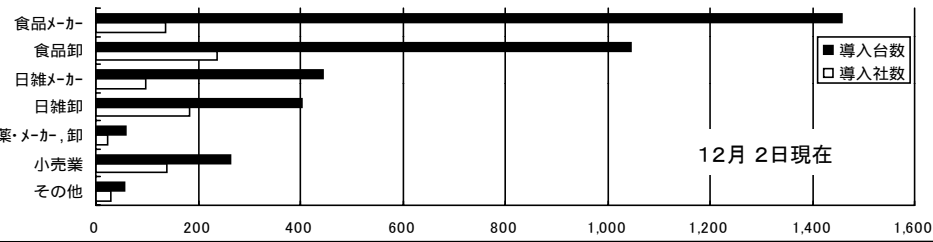
III・・・競合店分析データで評価してみよう。

A :対象	B :データソース	C :評価ポイント
1・・・商圏情報 * 対象人口・世帯数 * 競合小売業態と店舗数 * 自店の来店客数	1・・・ダイヤモンド・フリードマン社 (DARMS) 2・・・東洋経済 3・・・朝日新聞 4・・・社会調査研究所 5・・・通商産業省 6・・・R. D. S. (流通POSデータサービス) 7・・・社員・外部による店頭調査データ	1・・・棚本数変化の増減 2・・・棚段数変化の増減 3・・・サブカテゴリー数の増減 4・・・総SKU数の増減 5・・・総フェース数の増減 6・・・価格構成グラフの変化 7・・・特売テーマの変化 8・・・特売価格の変化
2・・・企業情報 * 財務分析 * 売場面積 * 付帯サービス		
3・・・MD政策情報(当該カテゴリー) * 売上・粗利・粗利益率・商品回転率・交差比率・PI値 * ゴンドラ本数・SKU数・メーカー数・価格構成グラフ・サブカテゴリー数 * 販売促進手法		

IV・・・POSデータで評価してみよう。

A :対象	B :データソース	C :評価ポイント
1・・・POSデータ	1・・・自社POSデータ 2・・・外部POSデータ	
1・・・商品利益(粗利益-販売経費)と販売個数 2・・・売上金額 3・・・売上金額構成比 4・・・売上数量	5・・・売上数量構成比 6・・・粗利益額 7・・・回転数 8・・・交差比率	9・・・貢献比率 10・・・サブカテゴリー構成比(数年比較) 11・・・SKUの前年対比(金額・数量増減比較) 12・・・各種クロス分析

棚POWER導入数【847社 3,727セット】



サポートセンターピックアップ No.26

サポートセンターへのお問合せが多い項目や便利な機能のご紹介

現在最新の棚POWERは「Ver10.20」です。こちらはホームページからのダウンロード版になりますが、インストールはお済みでしょうか？今回のバージョンアップは、「Ver10.00」または「Ver10.10」をCDからインストールしていることが必須となります。「バージョンアップがうまく行かない」「バージョンアップしたのに以前のバージョンのままになる」などのお問合せを多くいただきます。今回は、「Ver10.20」のインストール手順をお知らせします。

1.まずは、ホームページから以下のファイルをダウンロードしましょう（最新Ver10.20はホームページからのダウンロードとなり正規ユーザー様のみのサービスです）。

- ・棚POWER Ver10.20 インストールマニュアル 「v1020inst.pdf」
- ・棚POWERの最新バージョン Ver10.20 「tpv1020.exe」
- ・棚POWER Ver10.20 差分マニュアル 「v1020help_sabun.exe」

2.現在お使いになっている棚POWERのバージョンを確認しましょう。棚POWERを起動し、プルダウンメニュー・ヘルプ→バージョン情報を表示し、Ver10.00以上であることを確認してください。Ver10.00までのバージョンの場合は事前にVer10.00またはVer10.10 CD-ROMよりインストールを行なってください。

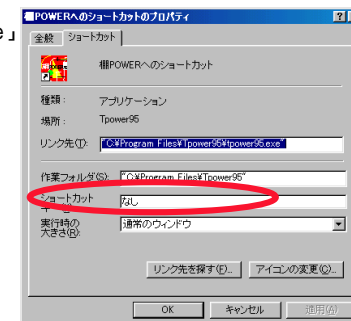
3.現在の棚POWERがインストールされているフォルダを確認します。棚POWERを起動する際に使用されているアイコン(またはショートカット)を右クリックで指定→プロパティを開きます。[リンク先]がお使いの棚POWERのアプリケーションです。[作業フォルダ]を確認し、このフォルダ名をメモしてください。

→右図参照:[作業フォルダ] C:\PROGRAM FILES\TPOWER95\

4. Ver10.20をインストールします(この手順については、上記「インストールマニュアル」に記載しています)。

- ①棚POWERが起動していないことを確認します。
- ②常駐プログラム(ウィルスバスターやオフィスのショートカットなど)をすべて終了します。
- ③ダウンロードした「tpv1020.exe」を起動します。
- ④自己解凍プログラムが起動し、上記3で確認したフォルダを指定し「OK」をクリックします。表示されるフォルダが3のフォルダと異なる場合は「参照」をクリックし、正しいドライブ・フォルダへ変更してください。
- ⑤上書き確認のメッセージが表示されるので「はい」をクリックしファイルの解凍を開始します。
- ⑥処理が終わりましたらバージョンアップは終了です。棚POWERを起動し、<ヘルプ>・<バージョン情報>でVer10.20となっていることを確認してください。

※上記と同じ手順で「差分マニュアル」もインストールしてください。マニュアルは棚POWERインストール時にお使いのパソコンのディスクに保存されます。スタートボタン→プログラム→[POWERS]より「棚POWER 基本マニュアル」をご覧ください(インストール時[プログラムグループ]の初期値は[POWERS]です)。



棚POWER® 品POWER® 店POWER® 床POWER™

各ソフトの詳細はホームページにて <http://www.iconcept.co.jp/>

株式会社 アイコンセプト

本社 〒564-0052 大阪府吹田市芝町9-28 江坂三生ビル4F TEL 06(6821)2571 FAX 06(6821)2572
東京オフィス 〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-12 陽光ビル7F TEL 03(5297)1365 FAX 03(5294)3393